

「(仮称)第2次北九州市いきいき長寿プラン」の素案に対する 市民意見提出手続の実施結果

◆ 意見募集期間

令和2年12月18日(金)から令和3年1月18日(月)まで

◆ 意見提出状況

- | | |
|------------|-----|
| (1) 提出者 | 49人 |
| (2) 提出意見数 | 82件 |
| (3) 意見提出方法 | |
| ア 持参 | 15人 |
| イ 郵便 | 1人 |
| ウ FAX | 8人 |
| エ 電子メール | 25人 |

(4) 提出された意見の内訳

分類目	件数
計画全般に関わるもの	6
目標① いきいきと健康で、生涯活躍できるまち	(20)
生きがい・社会参加・地域貢献の推進	13
主体的な健康づくり・介護予防の促進	7
目標② 高齢者とその家族、地域がつながり、支え合うまち	(12)
見守り合い・支え合いの地域づくり	6
総合的な認知症対策の推進	5
家族介護者への支援	1
目標③ 住みたい場所で安心して暮らせるまち	(35)
地域支援体制(医療・介護の連携等)の強化	4
介護サービス等の充実	20
権利擁護・虐待防止の充実・強化	2
安心して生活できる環境づくり	9
その他	9
合 計	82

(5) 計画への反映状況

分類名	件数	割合
①計画に掲載済、又は現在実施中・計画期間中に実施予定	32	39.0%
②追加・修正あり	4	4.9%
③追加・修正なし	37	45.1%
④その他	9	11.0%
合 計	82	

「(仮称)第2次北九州市いきいき長寿プラン」素案に対する意見一覧

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】</p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</p>		<p>【意見の反映結果】</p> <p>① 計画に掲載済、又は現在実施中・計画期間中に実施予定 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし</p>		
<p>計画全般に関わるもの</p>				
1	<p>私は、区老人クラブ連合会の役員をやっていますが、このプランの目指すところは人生100年時代にとって素晴らしい計画であり、この計画を高齢者と言われる65歳以上のみんなが理解して、自分のものとして受け止めて自分の事として実行できれば超高齢化社会のみんながいきいきと暮らせる社会が実現できると考えています。</p> <p>そのためには、人をあてにするのではなく、「目覚めた高齢者が、周りを引き込んで、目標達成に尽力すること」だと考えます。一人では無理でも、共感する人を一人でも引き込んで、高齢者が自ら活動することが大切ではないのでしょうか。</p>	<p>人生100年時代では、誰もが地域社会の一員として役割を果たすことが求められます。安心して暮らし続けられるまちづくりの実現に向け、高齢者も、できる範囲で社会の担い手・支え手となつていただくという視点にたち、計画を策定しています。</p> <p>様々な機会を通じて、計画内容の広報・啓発を行い、理解促進を図ります。</p>	1	①
2	<p>焦点が高齢者のみに当たりすぎていると思います。高齢化社会は決して高齢者だけの社会ではなく、その中で高齢者がいきいきと生活をする為には、世代間のコミュニケーションが大切だと考えます。</p>	<p>本計画は、市の基本構想・基本計画に基づく分野別の計画であり、主に高齢者(期)を対象として策定しています。また、「北九州の地域福祉(地域福祉計画)」を基盤として策定しており、高齢者だけではなく、高齢者をはじめ、誰もが地域の一員として、支え合いのできる地域づくりを目指し、取組みを推進します。</p>	2	①
3	<p>コロナ禍で、どのように事業を行っていくのか、またデジタル技術をどのようにとり入れて普及させていくのが重要になってくるのではないかと思います。</p>	<p>本計画は、「感染防止対策・災害対応の備え」を視点のひとつとして、策定しています。また、コロナ禍においては、デジタル技術の活用が有効であると考えており、御意見を踏まえ、計画を推進します。</p>	2	①
4	<p>この計画に基づいた事業をいかにして、分かりやすく市民に説明し、どこに行けば自分(相談者)の必要な情報にたどり着けるのか、その仕組みを作ることが具体的な成果につながるか否かの分かれ道かと思えます。</p> <p>北九州市が発行している「くらしの便利情報」という市政ガイドブックに、新規事業をフォローするなどの改定を合わせて行ったり、あるいは高齢者の福祉に的を絞ったガイドブックがあれば、事業目標の達成につながるのではないのでしょうか。</p>	<p>本計画の実施にあたっては、市民の皆さん一人ひとりに、高齢社会対策の重要性を理解していただくことが重要です。</p> <p>今後も、市政だよりや市のホームページの活用、市民にわかりやすいパンフレットの作成、地域に出向いて意見交換を行う「出前講演」の実施など、様々な機会を通じて計画</p>	2	①

「(仮称)第2次北九州市いきいき長寿プラン」素案に対する意見一覧

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】</p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</p>		<p>【意見の反映結果】</p> <p>① 計画に掲載済、又は現在実施中・計画期間中に実施予定 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし</p>		
5	素晴らしいプランだとは思いますが、知らない人がほとんどだと思います。日頃から元気で活動的な人は情報が入ってくるかもしれませんが、家にいる人は、市政だよりからの情報すら知らない人も多いと思います。高齢者の集まる病院や施設などにパンフレットを置いて発信してください。	内容の広報・啓発を行っていきたいと考えています。	2	①
6	高齢者とひとくくりで言われることに違和感があります。同じ70代でも、体力の違いや、持病のあるなし、経済力の違いなどで抱えている問題や生きがいは違ってくると思います。	本計画は、高齢者も年齢だけで、一律に支援を受ける側に回るのはではなく、出来る範囲で社会の担い手・支え手となっただくという視点で策定しています。 また、誰もが住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、医療・介護・生活支援・介護予防・住まいが一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指しています。	2	①

「(仮称)第2次北九州市いきいき長寿プラン」素案に対する意見一覧

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
【意見の内容】		【意見の反映結果】		
1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見		① 計画に掲載済、又は現在実施中・計画期間中に実施予定 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし		
目標と方向性				
目標①いきいきと健康で、生涯活躍できるまち				
【施策の方向性1】生きがい・社会参加・地域貢献の推進				
7	「デジタル技術の活用」は必須です。外出が苦痛・困難な方も、家の中で体操や情報入手できるように、北九州市独自のアプリ開発などのご検討もお願いいたします。加えて、慣れない操作により高齢者が詐欺被害に遭うことにならないよう、セキュリティの強化もお願いいたします。		2	③
8	今後の高齢者の生きがい・長生きにはWEB技術は欠かせないと思うので、期待している。 具体的な策として、各人のWEBレベルの判定シートを作成して、市民に公開してはどうか。各人が目標を設定して、集計する。例えば・スマホを持っている・メールが打てる・ラインで孫に写真が送れる・スマホで映画のチケットが取れるなど。	デジタル技術を活用するためには、スマートフォンやタブレットなどのデジタル機器を操作し、活用できる高齢者を増やすことが重要です。また、その必要性を感じていない高齢者も多いことから、まずはその意識を高めることが必要だと考えています。 その際、御指摘のように、高齢者が情報やサービスを支障なく利用できるよう保障するとともに、どうしても取扱いができない高齢者、いわゆる「デジタル難民」を生まないように、支援できる人を地域に増やすことを目指します。	2	③
9	「スマートフォンやタブレットの設定ができない高齢者をサポートする人の育成」とともにデジタル化の進展に対応して、高齢者、障害者のアクセシビリティの保障を積極的に推進するという視点で最初の具体的な計画を立てて欲しい。また、こうした対応の遅れが高齢者への情報の格差、生活の格差につながるリスクについても留意が必要と考える。		2	③
10	パソコン教室、スマホ教室は、いろいろな場所(市民センターやスーパーマーケット)でやってください。コロナ禍でステイホームといわれていますので、ズームやネット配信もできれば高齢者も元気になります。		2	③

「(仮称)第2次北九州市いきいき長寿プラン」素案に対する意見一覧

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】</p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</p>		<p>【意見の反映結果】</p> <p>① 計画に掲載済、又は現在実施中・計画期間中に実施予定 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし</p>		
11	<p>高齢者の意欲の増進のため、ICTを活用する取り組みはよいと思いましたが、もう少し具体性があるとさらによいと思います。</p>	<p>御意見を踏まえ、「デジタル技術の活用」の記載部分に、『地域の人が地域の高齢者にデジタル技術活用のメリットや必要性を伝えたり、デジタル機器の設定や操作の方法を教え、操作を手伝ったりすることで、高齢者のデジタル技術の活用や仲間づくりにもつなげることを目指します。』という具体策を追記します。</p> <p>また、高齢者、福祉サービス利用者だけでなく、それを支える人たち(地域の人、事業者、行政など)の向上が必要である旨、追記します。</p> <p>あわせて、当該「デジタル技術の活用」は、本計画全体に関わるものであることから、第3章の計画の基本目標と施策の柱の最終ページに移動します。</p>	3	②
12	<p>「高齢者のデジタル技術習得を支援する地域人材の育成」においては、積極的に市内大学生等を募り、作業を委託する等、高齢者と若者をつなぐ施策、全世代がいきいきと暮らせる施策が必要だと考えます。</p> <p>その際、大学生にとっては、アルバイトが出来ない等の収入減少にもつながるため、一定額の給付金、もしくは市内で協力店を募り食事等で使えるチケットを交付すると、市内活性化にもつながるのではないかと。</p>	<p>デジタル技術の活用については、まだまだハードルが高い高齢者と、難なく使いこなす大学生などの若い世代には大きな差があると思われれます。世代間の交流は、地域づくりにもつながることから、いただいた御意見は、具体的な取組みを推進する際の参考とさせていただきます。</p>	2	③
13	<p>80-50問題や引きこもり問題に関連するが、子どもの養育を、親、学校にとどまらず、地域全体で行うとよい。その際、ボランティアで参加できるための人材育成。</p> <p>(例)学校の授業に、地域のボランティアを入れての授業、地域も取り込んだ共育。これを足掛かりにして、親の養育を孤立化させない。</p>	<p>高齢社会においては、高齢者に限らず、誰もが地域社会の構成員としての意識をもち、役割を担うことが重要です。ご提案の子どもの養育を地域全体で行い、ボランティアで参加することは、高齢者の社会参加や地域づくりにもつながります。計画は、主に高齢者を対象とした計画ですが、子どもの養育については、「元気発信！子どもプラン」や「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」などと相互に連携し、推進してまいります。</p>	2	①
14	<p>年長者研修大学校は、社会的には能力活用につながり、個人には生きがいづくりにつながる。もっと、参加しやすい仕組み、門戸を開いてはどうか。小中学校の空き教室の活用など、各区単位に設置を要望する。</p>	<p>年長者研修大学校では、高齢者の生きがいづくりや仲間づくりに加え、地域活用や社会活動を担う人材育成を目的に、高齢者を対象とした講座を実施しています。同様の講座は、各区の生涯学習センターや市民センターでも開設しており、今後も、生涯学習活動を充実させてまいります。</p>	2	③

「(仮称)第2次北九州市いきいき長寿プラン」素案に対する意見一覧

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】</p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</p>		<p>【意見の反映結果】</p> <p>① 計画に掲載済、又は現在実施中・計画期間中に実施予定 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし</p>		
15	<p>「介護支援ボランティアの活動支援の場の充実」は良い施策と思います。ポイント制度も、「自分の出来る範囲で社会貢献したい」が一般高齢者で70%以上であることから、効果的なインセンティブになりうと思います。なので、介護支援に限定せず、安否確認や買い物、ゴミ出し支援などにも対象を広げてみてはどうでしょう。その際には、自治会や老人クラブの参加促進や女性が参加しやすい仕組みが不可欠です。</p>	<p>御指摘のように、高齢者の健康増進や生きがいづくりつなげるため、市内の介護保険施設等でボランティア活動を行った場合に、ポイントを付与し、貯まったポイントを換金または寄付できる介護支援ボランティア事業を推進しています。活動の把握やポイントの管理等の観点から、安否確認や買い物等の個人宅でのボランティア活動に対象を広げる予定は現在のところありませんが、より活動への参加がしやすくなるよう、活動の場の拡充を検討します。</p>	2	③
16	<p>健康型有料老人ホームで過ごした母は、最後まで人の役に立ちたいと言っていました。介護者が不足していると聞きますし、高齢者にも出来ることを少しでも見つけて、介護に参加したり、座ってできる手仕事を手伝ったりできれば、生きがいを持てるようになりいいと思います。いろいろな特技を持っている方も多いので活躍の場を見つけて健康寿命を延ばすことにつながると思います。</p>	<p>高齢者の健康増進や生きがいづくりにつなげるため、市内においてボランティア活動ができる介護保険施設をご案内しています。今後も引き続き、高齢者がいきいきと活躍できる環境づくりに取り組んでまいります。</p>	2	①
17	<p>地域活動に参加していない人が64.0%いるため、その方たちが、何らかの地域活動に楽しみながら参加していただければと考えます。初めて参加する人へのきっかけづくりや、いつまでも元気に継続的に参加してもらうためのフォローなど、様々な働きかけが必要であると思います。また、取組みを知らない方へどう届けるか、わかりやすく幅広い周知や広報のレポート、初任者向け、有資格者向けなど対象を明示するなどの工夫もご検討いただければと思います。</p> <p>高齢者人口は増加していますが、老人クラブへの加入は年々減少し、会員増強が課題です。また、会員(約35,000人)が参加可能な取組みについては、情報提供いただければと思います。</p>	<p>令和元年度高齢者等実態調査では、自分の出来る範囲で社会貢献したいと考えている高齢者は多くいらっしゃるようになりました。高齢者に対して、地域活動や社会参加へのきっかけづくり、意義の周知が重要だと考えています。いただいた御意見を踏まえ、各種取組みの広報周知に取り組んでまいります。</p>	2	①
18	<p>市が主体となって一人一人の趣味を生かしたカルチャーサークルのようなものを、各地域で作ってみてはいかがでしょうか。それには高齢者が実際に、どのようなサークルなら参加したいのか、アンケート等の事前調査が必要です。</p>	<p>市内には、市民センター等を拠点として、様々な団体やサークルが活動しています。また、民間のカルチャースクール等もあることから、意欲のある高齢者の多様な趣味に対応できるものと考えています。</p>	2	③

「(仮称)第2次北九州市いきいき長寿プラン」素案に対する意見一覧

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】</p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</p>		<p>【意見の反映結果】</p> <p>① 計画に掲載済、又は現在実施中・計画期間中に実施予定 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし</p>		
19	<p>今後、高齢者が就労を継続できる環境整備が必要と触れられていたが、高齢者はがんや脳心血管疾患などの疾患を有していることが多いため、高齢者の就労継続率を上げるためには、疾患の治療と仕事を両立できる支援が有用と考えられています。企業を対象に、啓発等を実施してはどうでしょうか。</p> <p>参考:厚生労働省「治療と仕事の両立支援ナビ」 https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp/</p>	<p>高齢者が就労を継続するにあたって、病気の治療と仕事の両立は、重要な課題のひとつだと認識しています。企業・働く人・市民・行政で構成された「北九州市女性活躍・ワークライフバランス推進協議会」を中心に、企業等を対象にした出前セミナーやアドバイザー派遣等を通じて、情報発信や社員等の理解の促進を図ります。</p>	2	①

「(仮称)第2次北九州市いきいき長寿プラン」素案に対する意見一覧

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】</p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</p>		<p>【意見の反映結果】</p> <p>① 計画に掲載済、又は現在実施中・計画期間中に実施予定 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし</p>		
<p>【施策の方向性2】主体的な健康づくり・介護予防の促進</p>				
20	<p>市民センターを拠点とした健康づくりとあるが、市民センターの利用が、一部の方々に偏ってるイメージがあり、敷居が高い。 もっと、オープンな、いわばフリースペース、フリーサロンの、地域の方が、ぶらりと寄れるような雰囲気のある場所になれば、そこから、地域の人々の輪が出来て、地域活性化の一助になるのではないかと。1階のオープンスペースの広さの確保が課題になる。</p>	<p>市民センターは、地域活動の拠点として、各小学校区に整備されており、一部の方々の利用に限った施設ではありません。 今後とも、地域に開かれたスペースになるよう推進してまいります。</p>	4	④
21	<p>健康づくりについては、健康づくり推進の会会員(現在約800名)がその重責を担っていると自負していますが、大半の会員が何をしたらいいのかを悩んでいるようです。まず、活動拠点である「市民センター」での立ち位置がはっきりしてないと思います。認知度の低さでしょうか、他の食進、スポーツ推進員等に比べるとかなり差があると感じています。活動拠点である市民センターの館長、まち協会長の考え方に大きな温度差を感じます。センター館長やまち協会長にもっとアピールして欲しいと思います。 私共の活動は、市民センター行事全てに関わっていますし、利用して欲しいと思いますし、パワーは若者に負けないぐらいあります。</p>	<p>住民主体の健康づくりには、健康づくり推進員等の活躍が不可欠であり、今後も、地域の健康課題の共有や活動支援を継続します。 なお、新任の市民センター館長向けに健康づくり(ポピュレーション)について研修を行い、健康づくり推進員について説明をしています。また、日頃から各地区(校区)の市民センター館長やまちづくり協議会に対して、地区担当保健師が理解を促す働きかけも行っています。 今後も、館長会議でのPR等を行ない、健康づくり推進員の認知度を高める支援を継続してまいります。今後も御協力をお願いいたします。</p>	2	①

「(仮称)第2次北九州市いきいき長寿プラン」素案に対する意見一覧

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】</p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</p>		<p>【意見の反映結果】</p> <p>① 計画に掲載済、又は現在実施中・計画期間中に実施予定 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし</p>		
22	<p>コロナ下におけるフレイル予防対策について、コロナ自粛による機能低下がみられる、そのおそれがある高齢者に対して、すぐに実施できる具体的な対応策を、検討すべきと考える。『オンライン』『リモート』との意見もあるが、皆さんが情報を得て、それらを使いこなす時間も待てない状況と思われる。</p> <p>運動・栄養・口腔の専門職や、健康運動推進員、食進会等の現在ある資源を有効的に活用し、すぐにでも実施できないだろうか考える。</p>	<p>コロナ禍でのフレイル予防対策については、リーフレットの配布や動画への誘導など、予防の視点を周知しています。</p> <p>また、要介護リスクが高い方に対しては、短期集中型サービス(サービスC)において、運動・栄養・口腔機能に総合的に働きかけるサービスを提供しています。</p> <p>コロナ禍で人を集めた活動ができない期間には「北九州市健康づくり推進員の会」がフレイル予防の取り組みを各地域で啓発するための「きた9ミッション」に取り組んでいます。</p>	2	①
23	<p>コロナの影響により、独居の方は特に外出や他者との交流が減り、閉じこもり気味で、意欲の低下により、食の確保・清潔保持・体力低下の度が、危惧される。介護保険利用者は、専門職などによる、対応が可能であるが、他の高齢者は他者との交流がない為、認知機能低下など心配、コロナ禍の中で生活の不活発化により高齢者の活動量低下、食生活の乱れから、要介護に移行するのではと危惧、早期の対応が必要。</p>	<p>また、「北九州市食生活改善推進員協議会」は、感染予防対策を徹底したうえで、「低栄養(フレイル)予防のための訪問事業」を継続し、休止中の「ふれあい昼食交流会」の献立配布や電話での声かけなどに取り組んでいます。</p> <p>引き続き、専門職の活用や地域ボランティア等の活動支援を実施してまいります。</p>	2	①
24	<p>現在のコロナ禍で、従来の要介護者の心身諸機能の低下が顕在化してきました。「コロナフレイル」と銘打った感染と介護予防の両立の必要性の啓発と実践できる仕組みづくりを希望します。</p> <p>また、「科学的な介護」という言葉で厚労省が採用しています。そこにはリハビリテーションと栄養(車のメンテナンスと燃料)のセットが介護予防に資すると述べており、今春の介護報酬改定に向けてのシンボリックなメッセージの一つとなっています。理学療法士会や栄養士会などが協業した活用による介護予防も有益ではないかと思っています。</p>	<p>住民のフレイル予防については、現在、リハ職・管理栄養士・歯科医師や歯科衛生士等の専門職にご協力いただき、取り組んでいます。</p> <p>今後は、感染予防とフレイル予防の両立に関しても啓発を強化するとともに、更に効果的な取り組みとなるよう職種間連携の強化を推進します。</p>	2	①

「(仮称)第2次北九州市いきいき長寿プラン」素案に対する意見一覧

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】</p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</p>		<p>【意見の反映結果】</p> <p>① 計画に掲載済、又は現在実施中・計画期間中に実施予定 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし</p>		
25	<p>生活習慣病を予防するため、食生活や運動が重要なことがわかっていますが、なかなか習慣を変えることができない人が多いとされています。</p> <p>近年、行動変容を目的とした取り組みにおいては、行動経済学の活用が注目されており、保健事業の企画を担当する担当者に、行動経済学の活用を検討するよう、研修を実施してはどうでしょうか。</p> <p><参考事例省略></p>	<p>ご提案ありがとうございます。</p> <p>今後も受診勧奨等により、特定健診の受診率、特定保健指導実施率の向上を図ります。</p> <p>いただいた御意見は、具体的な取組みを推進する際の参考とさせていただきます。</p>	2	①
26	<p>市が主催する介護予防活動を住民主体で地域に展開していく、健康づくり運動教室や地域サロン活動に繋がる連携が必要と考えます。地域で介護予防事業などに携わる人材育成、高齢者自身が支援の担い手として参加できるような体制づくり、地域に根ざした主体的な「健康づくり運動教室」などが多くの地域で開催できるような支援が重要になってくると考えられます。しかしながら、地域活動自体が減ってきている中の支援は、地域コーディネーターの役割は大きくなってくると考えられます。途切れてしまわないことが重要です。</p> <p>そこで行政・民間との連携をとり、立ち上げようとする地域や活動を支援する団体に助成をするなどを行い、理学療法士・歯科衛生士・健康運動指導士などの専門職の支援を受けながら、活躍できる高齢者の発掘や機会の提供を支援することも必要と考えます。</p> <p><参考事例省略></p>	<p>ご提案ありがとうございます。</p> <p>住民主体による生きがい・健康づくりを推進するため、NPO・ボランティア団体等が行う地域交流の居場所づくりへの助成を行っています。</p> <p>今後の介護予防活動の地域展開についても、高齢者自身が地域で活躍し、活動を継続できるよう、専門職による支援等を推進してまいります。</p>	2	①
<p>目標② 高齢者と家族、地域がつながり、支え合うまち</p>				
<p>【施策の方向性1】見守り合い・支え合いの地域づくり</p>				
27	<p>超高齢化社会において、現状の自治会・町内会等で地域を支えていくには困難であると考えます。地域の困りごとや行事等を地域住民に簡単に伝えられるような情報発信方法の検討をお願いします。</p>	<p>本市では、市政だよりの発行やHP、LINE等を使った情報発信に努めておりますが、地域の情報に一番詳しいのは地域の人だと考えています。地域の困りごとを相談し合えるような地域づくりを目指してまいります。</p>	2	③

「(仮称)第2次北九州市いきいき長寿プラン」素案に対する意見一覧

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】</p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</p>		<p>【意見の反映結果】</p> <p>① 計画に掲載済、又は現在実施中・計画期間中に実施予定 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし</p>		
28	<p>この計画の中核として活動すべき老人会活動の低迷が一番気になる。地域のつながり、互助の精神の定着したまちづくりのため、生活力が低下した方々を見守り、地域として助けあわねばならないことをひしひしと感じています。老人会活動の一つである「友愛訪問活動」が一番効果的であり、みんなで見守り、助け合う活動の展開をより広く深く進めなければならないと痛感しています。</p>	<p>御指摘のように、老人クラブでは、一人暮らし高齢者への声掛けや訪問等を行う友愛活動をはじめ、様々な社会奉仕活動が行われています。</p> <p>本市では、今後も、老人クラブの活動を通じた、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを支援してまいります。</p>	2	①
29	<p>社会資源の育成は時間がかかります。特に、多くの男性は定年までの40数年間を仕事中心で過ごし、ボランティアといった社会貢献は苦手の方が多いと聞いています。このプランとは直接の関係は薄いのですが、20代、30代から社会貢献活動に興味を持っていただき、実践するために、企業を巻き込んだ有償ボランティア活動も今後の施策の1つではないでしょうか。</p>	<p>高齢期に至る前の若年世代に対しても、社会参加の重要性や高齢期の備えに関する意識啓発が必要です。企業・働く人・市民・行政で構成された「北九州市女性活躍・ワークライフバランス推進協議会」を中心に、企業等を対象にした出前セミナーやアドバイザー派遣等を通じて、情報発信や社員等の理解の促進を図ります。</p> <p>有償ボランティア活動などについては、地域福祉計画に基づき、地域共生社会を目指して具体的な取組みを推進する際の参考とさせていただきます。</p>	2	③
30	<p>今後は、高齢者の増加の中でも「単身高齢者」の割合が増加すると思われます。相談する家族や日常の世話をしてくれる家族がいなければ、最悪の場合、孤独死となってしまいます。そうならない為にも、日頃からのコンタクト、地域の力、社会資源の育成が必要だと感じます。自治会、町内会、老人クラブなど、地域の社会資源になりうる組織は、かつてに比べれば加入率は減少していますが、まだまだ力はあると思います。</p>	<p>住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けるためには、公的なサービスや家族だけでなく、近所の人や友人など地域での支え合いが大切です。</p> <p>住民組織の活動の大切さや必要性の周知と合わせ、地域団体の加入促進を図るとともに、地域の特性に合わせて、多様な住民や団体が地域の困りごとなどを話し合う場(協議体)の推進など、住民主体の支え合いの基盤づくりを支援します。</p>	1	①

「(仮称)第2次北九州市いきいき長寿プラン」素案に対する意見一覧

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見		【意見の反映結果】 ① 計画に掲載済、又は現在実施中・計画期間中に実施予定 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし		
31	高齢者の生活支援体制の整備の記載があるが、「一人暮らしの高齢者等が、体調不良時や災害時に備え、あらかじめ緊急連絡先、かかりつけ医等の個人情報を集約保管しておく「あんしん情報セット」の普及を図る。」旨の追加の検討をお願いします。	「あんしん情報セット」の取組みは、各区の保健・医療・福祉・地域連携推進協議会の協力で、平成22年から実施している取組みのひとつです。 御指摘を踏まえ、【施策の方向性4】安心して生活できる環境づくりの中の継続する取組みのひとつとして、『一人暮らしの高齢者等が、体調不良時や災害時に備え、あらかじめ緊急連絡先、かかりつけ医等の個人情報を集約保管しておく「安心情報セット」の普及を図る』を追加します。	3	②
32	高齢者を支えていく人の育成や地域づくりについては、福祉の職場も後任者がいない状況で、福祉や支え合うことの大切さややりがいや学校教育に取り込んで教えていく必要があると感じている。	御指摘の内容については、学校教育の中では、道徳科の内容項目「主として人との関わりに関すること」の中の「親切、思いやり」や、「主として集団や社会との関わりに関すること」の中の「社会参画・公共の精神」の教材で学んでいます。 今後も、引き続き福祉や支え合いについての学習を、確実に実施してまいります。	2	①
【施策の方向性2】 総合的な認知症対策の推進				
33	各所で行われる、認知症行方不明者の捜索模擬訓練については、警察としても、何らかの形で、情報提供が頂ければ、参加、対応を前向きに検討したいと考えます。情報提供が頂ける制度について、ご検討頂ければと思います。	捜索模擬訓練など、認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らしていくための取り組みを進めるには、警察署との協力は不可欠であると考えています。すでに一部の捜索模擬訓練では警察にご協力をいただいているケースもあります。 今後も一層、情報共有をしていきたいと考えています。	2	③
34	「認知症とともに生きる北九州市希望宣言」を制定するという、項を設けてはいかがか。理由として、「一足先に認知症になった私たちからすべての人達へ」のメッセージを送ることが大切であること、「いきいき長寿プラン」を実現するための理念や決意を北九州市民に広く語ることが、実行力を発揮する柱になると思うこと、日本認知症ワーキンググループ(代表理事:藤田和子)「希望のリレー」プロジェクトを全国で展開しており、他市に先がけて制定してはどうかと考えること。	本計画では、新たに、認知症の人が自らの言葉で自身の思いなどを発信できる場の構築に取り組んでいくこととしています。その取り組みの中で、ご提案の「日本認知症本人ワーキンググループ」が策定した「認知症とともに生きる希望宣言」の広まりも期待しているところです。 まずは、認知症の人やその家族の意向も大切にしながら、認知症の人が自らの言葉で自身の思いなどを発信できる場の構築に向けて取り組んでまいります。	3	③

「(仮称)第2次北九州市いきいき長寿プラン」素案に対する意見一覧

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】</p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</p>		<p>【意見の反映結果】</p> <p>① 計画に掲載済、又は現在実施中・計画期間中に実施予定 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし</p>		
35	<p>若年性認知症の人達が取り組める職業開発と、支援体制の構築。と具体的な項を設けてはどうか。</p>	<p>若年性認知症の人への支援体制の強化は重要であると考えています。そのため、若年性コーディネーターを中心に、その人の症状や社会的立場、生活環境、意思等に応じた、適切な医療・介護・障害福祉サービスに加え、雇用に関することについても、適切な支援が受けられるよう、関係機関との連携体制づくりに取り組むこととしています。</p>	3	③
36	<p>福岡県介護福祉士会において、県委託事業として認知症対応向上研修を行っています。対象者は訪問介護員です。認知症介護最新情報、早期発見の意義、認知症の方の家族支援の内容で、「認知症介護研究・研修仙台センター センター長」「東北福祉大学総合福祉学部福祉心理学科教授」の加藤伸司氏の講義で最新の情報を含専門性がある講義内容です。北九州市は年1回の研修です。介護支援専門員の研修も行っていますが、専門職への研修が少ないように感じます。検討して欲しいです。</p>	<p>医療・介護サービスを担う人材育成は非常に重要です。そのため、本計画では、医療従事者に対する認知症対応力向上研修や、認知症介護の指導的な立場の人や介護従事者に対する研修を実施することとしています。 今後も、様々な講師をお招きして、実効性のある研修を実施したいと考えています。</p>	2	③
37	<p>認知症の方たち同士が集まって、話ができる場を作っていくことが、認知症になっても希望を持って生きることの第一歩ではないかと思えます。そして、認知症当事者の方が認知症の方の相談に乗るような機会・地域が増えていくことが、大切ではないかと思えます。 また、当事者が集まって話すときに、若年性認知症の方たちは、ご家族が働いている方も多く、移動の支援があればもっと自分がしたいことができると思えます。</p>	<p>本計画では、新たに、認知症の人が自らの言葉で自身の思いなどを発信できる場の構築に取り組んでいくこととしています。ご提案の認知症の人が集まって話ができる場を作ること、認知症当事者が認知症の人の相談にのる機会、さらに若年性認知症の人の移動支援などの御意見は、今後の取組みを推進する際の参考とさせていただきます。</p>	2	③

「(仮称)第2次北九州市いきいき長寿プラン」素案に対する意見一覧

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
【意見の内容】		【意見の反映結果】		
1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見		① 計画に掲載済、又は現在実施中・計画期間中に実施予定 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし		
【施策の方向性3】 家族介護者への支援				
38	虐待の問題は後を絶たず、非常に厳しい家庭での介護状況というのがうかがえるため、家族支援が重要。地域包括支援センターが中心となって、相談窓口の設置や充実等の強化をしていただきたい。	本市では、虐待防止をはじめ様々な高齢者問題の総合相談窓口として地域包括支援センターを設置しています。 介護疲れや認知症に対する理解の不足、近隣との関係など様々な問題が高齢者虐待の背景にあることから、地域包括支援センターでは、関係機関と連携し、虐待を受けている高齢者だけではなく、家族全体を支援する視点に立って対応しております。 また、介護サービス事業者や高齢者虐待に対応する職員に対し研修を実施し、虐待対応能力の向上を図っており、今後も継続してまいります。	2	①
目標③ 住みたい場所で安心して暮らせるまち				
【施策の方向性1】 地域支援体制（医療・介護の連携）の強化				
39	地域包括支援センターの運営について、相談内容によって各担当窓口や機関に案内することは当然のことと思われるが、時折、結局最終的には包括窓口への相談をしないといけない場合がある。いわゆる「たらいまわし」状態にならないために相談者のニーズについて把握できるように、研鑽を積んでもらいたい。	職員の資質の向上を図るため、市全体で実施する地域包括支援センター職員初任者研修への参加のほか、情報共有・事例検討・業務検討等を行い研鑽に努めています。 今後も資質の向上に向けて研鑽に努めてまいります。	2	①
40	地域ケア会議について、自立支援や重度化防止の視点を踏まえて実施されているが、北九州市においては、専門職が、必要と思われた時に呼ばれていると聞いている。本人、家族、ケアプラン作成者が、問題と考えていなくとも、専門職として、重度化防止のために必要な点をアドバイスできるケースもある。是非、運動、口腔、栄養の専門職の配置をお願いしたい。	地域包括支援センターが主催している地域ケア個別会議を開催するにあたっては、事前に準備会議を行っています。準備会議では、地域包括支援センター及び統括支援センターが事例について検討したうえで、地域ケア個別会議の当日にOT、PT、栄養士、歯科の専門職等の必要なアドバイザーを招聘しております。 今後も事前の準備を行うことによって、本人、家族、ケアプラン作成者が問題と聞いていない課題についても、専門職のアドバイスが出来るよう、対応してまいります。	2	①

「(仮称)第2次北九州市いきいき長寿プラン」素案に対する意見一覧

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見		【意見の反映結果】 ① 計画に掲載済、又は現在実施中・計画期間中に実施予定 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし		
41	「北九州医療・介護連携プロジェクト」はとても良い取り組みだと思います。地域包括支援センター等が関与している、配慮が必要な住民で、ケアマネがない方についても、緊急入院時に医療機関から連絡をもらえる体制が整っていれば関係者が迅速な対応をできるのではないかと思います。	「北九州医療・介護連携プロジェクト」の一環である「とびうめ@きたきゅう」では、登録された方の医療・介護・健診の情報だけでなく緊急連絡先の登録もできるため、緊急搬送先の病院から緊急連絡先へ連絡が入るような仕組みとなっています。また、緊急連絡先としてご家族だけでなく、地域の繋がり深い方を登録することも可能です。より適切で迅速な対応ができる体制づくりのため、「とびうめ@きたきゅう」をはじめ、「北九州医療・介護連携プロジェクト」を推進してまいります。	1	①
42	地域リハビリテーション支援拠点が設置され、専門職の幅広い登用が進み、地域の和と専門職の和を大きく、さらに繋げるものと期待しています。また公的な依頼であれば院外、施設外における活動を推進することが可能となると思われれます。これらの事業を発展させるために医師会および病院長・施設長などに対して広報を強化して頂きたい存じます。	御指摘のとおり、市民・専門職を含めた地域の力を高めるためには、医師会等関係機関や医療機関及び介護事業所等の協力が必要となります。事業を進めるにあたっては、これらの関係機関等の協力を得ながら、地域リハビリテーション支援体制を推進してまいります。	2	①
【施策の方向性2】 介護サービス等の充実				
43	北九州市の介護保険料が、月平均560円程度値上げされる計画になっています。既に介護保険制度が発足してから保険料は倍近くに上がっています。賃金の下がり、消費税の上がり、医療保険料も上がり、医者通いの頻度も増えて、負担は増える一方です。これ以上の負担増は、耐えられません。		3	③
44	保険料の負担が高すぎます。その為に、医療保険と同様に、払えなくて、介護が利用できない人が増えるのではありませんか。私の地域は、介護保険の認定をためらっている人も多く、住民の福祉の増進とは程遠いです。		3	③

「(仮称)第2次北九州市いきいき長寿プラン」素案に対する意見一覧

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】</p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</p>		<p>【意見の反映結果】</p> <p>① 計画に掲載済、又は現在実施中・計画期間中に実施予定 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし</p>		
45	介護保険料の引き上げに反対します。国や地方自治体で、もう少し負担をして頂けると、年金生活者は老後を楽しめるのでは。	<p>介護保険制度は、介護が必要になった高齢者やその家族を支えるためにサービスの提供を行うしくみです。</p> <p>介護サービスに必要な費用は、利用者の1割～3割の負担を除いて、保険料50%(40歳～64歳:27%、65歳以上:23%)と税金50%で賄うよう介護保険法で定められています。</p> <p>このうち、65歳以上の方の保険料は、北九州市が今後3年間にかかる介護サービス費用を見込み、その費用を65歳以上の被保険者(第1号被保険者)全員で負担します。そのため、介護サービスを利用する人が増え、サービス費用が増大すると介護保険料が上昇することとなります。</p> <p>今後、本市では高齢者人口がピークを迎え、要介護認定者数も増加するため、それに伴い介護保険料が上昇することが予測されます。</p> <p>そこで、市全体の介護給付費を無理なく抑え、ひいては一人ひとりの介護保険料が抑えられるよう、元気な高齢者を増やし、介護が必要な方を少しでも減らしていくため、介護予防の取組みをさらに充実させてまいります。</p> <p>また、国に対しては、保険料の負担が大きくなるよう国の負担割合を引き上げることなどについて要望を行っております。</p> <p>なお、保険料の支払いが困難で、一定の要件に該当する場合には、申請により負担を軽減する制度があります。</p> <p>市民のみなさまには、ご負担をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。</p>	3	③
46	年金生活者としては、年金は上がらないのに負担だけ増えるため、生活の一部を削らなければなりません。しかも、保険料は少ない年金から差し引かれ、生活の中で衣食住より優先されることには納得しかねます。徴収のあり方等、制度の見直しと国の負担を増やすことが必要だと思います。まず、報酬額の引き上げ分につき、国が負担すべきです。		3	③
47	今でも食べられません。これ以上あげないで下さい		3	③
48	私は年金で生活していますが、生活は苦しく、何を削ったらいいのか頭を悩ましています。少しの体調不良でも医者に行くのをがまんしています。このたび、介護保険料があがるという事を聞きました。年金天引きなので困ります。軍事費に沢山の税金をつぎこむ、高齢者には冷たい、政令市の北九州市、もっと国に負担してもらえないでしょうか？		3	③
49	介護保険料金の値上げは反対する。年金は上がり、負担は増えるばかり。国や自治体が負担を増やして下さい。		3	③
50	介護保険料金の引き上げについて反対します。高齢者のほとんどが年金だけの生活です。衣食住より優先させて保険料は引かれます。どうぞ国の負担を増やして下さい。北九州市として国へ要請してください。高齢者の町として。		3	③

「(仮称)第2次北九州市いきいき長寿プラン」素案に対する意見一覧

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】</p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</p>		<p>【意見の反映結果】</p> <p>① 計画に掲載済、又は現在実施中・計画期間中に実施予定 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし</p>		
51	<p>2000年に介護保険が多くの人の反対を押し切って導入されました。その後、保険料はどんどん値上がっています。その値上げに反対です。しかも年金から差し引かれ、生活費にしわよせが来ています。その上、サービスを受けようと思うと、要支援の人は、自治体の介護保険外のサービスをすすめられたり、ゆくゆくは、要介護3以上の人しかサービスが受けられないのではという声もあります。公費を導入して負担を今以上あげないでください。</p>		3	③
52	<p>年金者及び庶民の収入は減る一方なのに、更に一方的に徴収される介護保険料が高くなるなんて本当に許せません。しかも、実際介護保険料を払っても、だれもが介護保険を利用できない状態です。まずは制度の中身を整備することが大事です。</p>		3	③
53	<p>私は、介護保険料の値上げに反対です。収入は年金ですが、口座に入金になった時には差引かれています。目に見えるシステムに変えて下さい。(年金支給額－介護保険料＝〇〇円と口座に記入する方式)</p>	<p>介護保険料は、毎年6月に送付する「介護保険料納入通知書」により、1年間の保険料額をお知らせしています。 その他、各年金保険者が送付する「年金支払通知書」「年金振込通知書」(日本年金機構は6月定時通知、10月の随時通知を行っている)で確認することができます。</p>	3	③
54	<p>介護保険料の認定が家族全員の所得によって決められるのが納得いきません。少ない年金の中から扶養家族分が高すぎます。介護サービスは低下されているのに保険料の値上げは困ります。</p>	<p>介護保険法(第130条)で「保険料の賦課期日は、当該年度の初日とする」と定められているため、4月1日時点の世帯情報及び所得段階等で保険料段階を算定します。 介護保険制度では、介護サービスやその他の介護保険事業の費用を賄うために、65歳以上の方(第1号被保険者)全員が納付義務者となり、負担能力に応じて保険料を納めていただくこととなっています。 被保険者本人の市民税課税・非課税の別や所得状況、被保険者本人が市民税非課税の場合は、被保険者の属する世帯の世帯員の市民税課税・非課税の別を基に、保険料が決定・賦課される仕組みとなっています。</p>	3	③

「(仮称)第2次北九州市いきいき長寿プラン」素案に対する意見一覧

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】</p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</p>		<p>【意見の反映結果】</p> <p>① 計画に掲載済、又は現在実施中・計画期間中に実施予定 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし</p>		
55	<p>家族と仕事を両立していくうえで、介護は育児と並ぶ大きな課題です。遠方に住む母がこの先、介護が必要になったら、一人娘の私が支援しなければなりません。私はフルタイムで働いていますが、どこまでサポートできるのか不安でいっぱいです。</p> <p>今後、母に介護が必要になっても、本人や家族が安心できるサービス環境を整えること、介護や医療について相談できる身近な窓口が増えることなどを望んでいます。そのための介護保険料であるなら、一定程度、保険料の負担が増えても、もっとサービスを充実して欲しいと思っています。</p>	<p>高齢化の進展により介護が必要となる高齢者が増え、介護給付費が年々増加しています。本市では、75歳以上の高齢者人口のピーク(令和10年度)、要介護認定者数のピーク(令和16年度)を迎え、介護給付費は引き続き上昇していくことが見込まれる中、可能な限り介護給付費を抑制していくことが重要であると考えます。</p> <p>そのため、「第2次北九州市いきいき長寿プラン」では、『いつもの活動に運動プラス』を合言葉に、住民主体の通いの場で、きたきゅう体操等の運動習慣の定着を促し、住民の健康づくり意識の向上を図るとともに、仲間と一緒に取り組む介護予防活動を支援していくこととしています。</p>	2	③
56	<p>高齢化が進んでいるのは、北九州市の問題だけではありません。社会保障にお金がかかるのは当たり前のこと。</p> <p>私は、後期高齢者ですが、病院代を払うときに現役世代の方の負担が大きそうで、とても気の毒に思っています。こんな世の中だから、介護保険が支え合う制度であるなら、ある程度の自己負担の増加はいたしかたないと思います(もちろん安いに越した方が良いでしょう)。</p>	<p>本市では、今後も健康づくりや介護予防の取組みを進め、真に必要な介護サービスに重点を置くなどして、適切な保険料を設定したいと考えています。</p>	1	③
57	<p>高齢者が増えているので、介護保険料も年々増加しても仕方がないかもしれませんが、その分、各個人の希望に合わせた、より良いサービスを提供して欲しいです。いざというときに、安心して介護サービスが受けられると保障されていれば、早いうちから施設に入らず、出来るだけ自宅で過ごしたいと思っている高齢者は多いと思います。</p>	<p>なお、必要な時に必要な介護サービスを安心してご利用いただくため、また、介護する家族等の負担軽減を図るため、相談窓口である地域包括支援センターや登録施設に設置されている「まちかど介護相談室」等の周知に取り組んでいきます。</p>	2	③

「(仮称)第2次北九州市いきいき長寿プラン」素案に対する意見一覧

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】</p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</p>		<p>【意見の反映結果】</p> <p>① 計画に掲載済、又は現在実施中・計画期間中に実施予定 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし</p>		
58	<p>介護施設でのデイケアをみると、施設で決められたメニューを、毎日決められたとおりにすることに、抵抗を感じている人が意外と多いです。私たちは一方的に、こちらの価値観、都合を押し付けてはいないでしょうか。その人が求める、その人に合った時間を過ごしてもらおう、これこそが、「その人らしく」のサポートの在り方ではないでしょうか。ご検討のほど宜しくお願いいたします。</p>	<p>利用者の心身の状態にあったサービスとするため、適切なケアプランは欠かせません。ケアプランはケアマネジャーが作成しますが、作成にあたっては、①本人の心身の状態に見合った内容か ②必要なサービスが必要な分だけ盛り込まれているか ③この計画で心身の状態が改善しそうか などのポイントを被保険者本人やその家族も確認する必要があります。</p> <p>よく検討して完成したケアプランによる介護サービスも、身体や環境等の状況変化のため、サービス内容の変更を行うことは可能です。</p> <p>今後も、それぞれの利用者にあった適切なケアプランの作成を推進してまいります。</p>	2	③
59	<p>新型コロナの感染拡大により経済が低迷、倒産・失業が増え、介護人材の安定の確保のため、「多様な人材の参入促進」で「介護を雇用の受け皿とする」施策は懸念されます。</p> <p>景気の動向次第で安易な移行先とされてしまうことで、「介護の専門性が軽く見られてしまう」のではないかと危惧されます。</p> <p>現在、新型コロナのほか、季節性のインフルエンザ、高齢者に多い疾患など、介護現場は多くのリスクにさらされています。新しい人材の育成には、一時的ではあるが、現場のリーダーや、管理職の負担は増大します。慎重に進めていただきたいです。</p>	<p>今後も引き続き介護が必要となる高齢者が増えていくなか、介護人材の確保は喫緊の課題です。本市では、地域の元気な高齢者や子育て中の方など、多様な人材の参入促進に努めているところです。</p> <p>また、人材の定着には、仕事に対するやる気を高めることやモチベーションを維持することが重要です。そのため、本市では、介護職員の処遇改善、職場環境改善に加え、介護従事者や若年者、海外からの介護人材など、様々な人材層を対象として研修に取り組んでいるところです。</p> <p>今後も介護の質の向上を図りつつ、介護人材の確保と定着に努めてまいります。</p>	2	①

「(仮称)第2次北九州市いきいき長寿プラン」素案に対する意見一覧

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】</p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</p>		<p>【意見の反映結果】</p> <p>① 計画に掲載済、又は現在実施中・計画期間中に実施予定 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし</p>		
60	<p>介護人材の確保等について、今後、新型コロナによる失業増が予測されることを受け、市主催のヘルパー養成講座(生活支援型訪問介護サービス従事者研修を含む)をweb講座とし、訪問介護への労働力参入を促進させる。加えて生活支援型サービスに一定期間従事したものは初任者研修における実習時間数にカウントすることも合わせて検討していただきたい。</p>	<p>ご提案の生活支援型訪問サービス従事者研修のWEB講座開催については、現段階では、受講者側に安定したネットワーク環境が確保されていないという課題があります。また、受講希望者には、高齢者が多く、ネットワーク環境のみならず、パソコン操作自体が難しいという課題もあります。このような現状を踏まえると、速やかなWEB講座への移行は難しいと考えておりますが、新型コロナウイルスの感染状況を見据えると、WEB講座の必要性は高いと考えています。また、高齢者のデジタル技術の習得の支援は、本計画の柱のひとつでもあることから、WEB講座を実施できるよう。前向きに検討してまいります。</p> <p>次に、「生活支援型サービスに一定期間従事したものは初任者研修における実習時間数にカウントすること」についてですが、「介護職員初任者研修」は、厚生労働省がその制度や実施について指針を示し、各都道府県の実施要綱に基づき、各都道府県が指定した養成機関で実施しています。いただいたご意見につきましては、福岡県にお伝えします。</p>	2	③
61	<p>介護人材の確保が喫緊の課題であり、その対応のためにいろいろな取り組みを行っていることはわかります。</p> <p>しかし、それでも人材不足が是正されないのは、介護職員の待遇の悪さが、大きな原因ではないかという気がします。介護現場で働く人を大切にしなければ、介護サービスを提供できなくなり、大量の介護難民を生むことになると思います。給与を上げるとなれば、その財源が必要であり、当然のことながら保険料の上昇にもつながりますが、社会全体で高齢者を介護する介護保険制度を持続可能なものとするためには、それもやむを得ずと考えます。</p>	<p>介護職員の確実な処遇改善を担保し、他産業との賃金差を解消するため、介護報酬における加算として、介護職員処遇改善加算が設けられています。本市では、制度を丁寧に説明し、少しでも多くの事業所にこの処遇改善加算を取得していただくよう努めているところです。</p> <p>また、介護事業所の経営マネジメント力の向上や労働環境の改善を支援するため、経営者等を対象としたセミナーを開催するなど、介護職員が安心して勤めることができる、働きやすい職場環境づくりを推進しています。</p> <p>今後も、安定的に介護サービスの提供ができるよう、介護職員の確保・定着に取り組んでまいります。</p>	2	①

「(仮称)第2次北九州市いきいき長寿プラン」素案に対する意見一覧

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見		【意見の反映結果】 ① 計画に掲載済、又は現在実施中・計画期間中に実施予定 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし		
62	在宅生活を支援するサービスとして「訪問給食サービス」の実施は意味のあることだと思う。今後、サービス業者、利用者数とも増えていくことを願う。	本市の訪問給食サービスがより良いサービスとなりますよう、栄養バランスに優れた食事を提供できるサービス事業者の選定や訪問給食サービスの周知・広報について、これまで以上に努めてまいります。	1	①
【施策の方向性3】 権利擁護・虐待防止の充実・強化				
63	No. 148「成年後見制度の申立費用等の助成」について、R1年度の実績数とR5年度の目標数を教えていただきたい。	令和元年度の成年後見制度の申立て費用等の助成実績は、31件(約3,612千円)です。 なお、成年後見制度の申立て費用等の助成実績を本計画の成果指標としていないため、令和5年度の目標数は定めておりません。	4	④
64	成年後見制度の申し立て費用や後見人報酬の助成について、今後の後期高齢者の増加、独居世帯や認知症の増加を考えると成年後見制度の普及・推進は極めて重要です。しかし、低所得の高齢者の実際の利用においては申し立て費用や後見人報酬の負担をめぐって利用が円滑に進まないケースがあり、市県民税非課税者などへの助成の拡大が検討される必要があると考えます。こうした助成制度がある地方自治体の調査や県や国への要望意見などできるところから実現に向けて取り組んでいただきたい。	「成年後見制度の申し立て費用や後見人報酬の助成の拡大」につきましては、今後、本市がこれまで以上に成年後見制度の利用を促進していくための重要な課題と認識しております。 国等に対し助成制度の標準的な基準の提示やこれまで以上の財政措置等を要望するとともに、本市の助成制度の拡充に向けて、調査・研究に取り組んでまいります。	2	①
【施策の方向性4】 安心して生活できる環境づくり				
65	交通安全や防犯に関するキャンペーンや講話は、警察でも行っていますので、連携して行うことで、良い相乗効果が得られると思います。	各種事業の実施にあたっては、今後も、関係機関・団体との連携を図って実施してまいります。	2	①

「(仮称)第2次北九州市いきいき長寿プラン」素案に対する意見一覧

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】</p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</p>		<p>【意見の反映結果】</p> <p>① 計画に掲載済、又は現在実施中・計画期間中に実施予定 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし</p>		
66	<p>シルバーひまわりサービスによる外出支援は、65歳以上の方が対象なので、若年性認知症の方まで対象支援に含まれるようにしていただきたいと思いをします。</p>	<p>シルバーひまわりサービスは、社会福祉協議会が利用者と運転ボランティアのコーディネートを行っており、市民ボランティアの協力で実現している取組みです。</p>	3	③
67	<p>「シルバーひまわりサービス」の利用出来る人の範囲拡大をお願いしたい。介護保険上では「在宅」の位置付けにある「経費老人ホーム」に入居中の方は、利用出来ない。 要介護1で公共交通機関を利用出来ないADLの方がおり、外出の度に(月1～2回の定期受診)タクシーを利用しなければならないため、経済的に逼迫し、必要なリハビリ(通所介護や訪問リハビリ等)の利用が不可能な状態にあるがいる。「在宅」の定義の拡大、もしくは、市としてタクシー代の助成等の検討をお願いしたい。</p>	<p>現在の利用対象者は、65歳以上の在宅高齢者で、他の支援がなく公共交通機関の利用が困難な方(要支援、要介護1、2)となっています。 いただいた御意見は、具体的な取組みを推進する際の参考とさせていただきます。</p>	3	③
68	<p>終活に関する相談と支援は、大切な取り組みだと思えます。身寄りのない高齢者や支援が難しい親族から、何かあった場合の葬儀や相続問題などについて、相談窓口や支援機関があると安心できると思えます。</p>	<p>生前に財産管理や葬儀などをどのようにするか整理しておく「終活」について、関心が高まっていると考えています。北九州市社会福祉協議会が受け付けている相談を通じて、ニーズの把握に努め、今後、具体的な取組みを検討してまいります。</p>	1	①

「(仮称)第2次北九州市いきいき長寿プラン」素案に対する意見一覧

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】</p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</p>		<p>【意見の反映結果】</p> <p>① 計画に掲載済、又は現在実施中・計画期間中に実施予定 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし</p>		
69	<p>在宅生活の支援として、高齢者の買い物をサポートするサービスがあったら良いと思う。買い物やバザーで、生き生きと品物を選んでいる高齢者を見ることがある。</p> <p>一緒に市場やスーパー等へ行き、自分の目で品物を選び、お金を使うことは、生きがいにつながるのではないかと考える。</p>	<p>買い物支援については、地域によって地理的条件やそこに暮らす住民の年齢層や活動団体などが異なり、ニーズや課題が様々です。</p>	2	③
70	<p>私の住む団地では、高齢化が進み、独居世帯の増加が見られ、支援サービスの充実が一層必要になると思われます。</p> <p>については生活支援サービスの充実・強化策の中で、買物難民状況の人たちへのケアシステムの構築を検討していただきたいと思えます。</p> <p>(1) お買い物バスの巡行拡大 (2) 近くのスーパーもしくは商店街との連携による、電子通信での買物ニーズの把握と配達システムの構築(自治区会、町内会メンバーのボランティア活動も含む) ・独居世帯の異常なし確認にも通じるシステム (3) PC、スマホ、タブレット等での連絡、確認手段の実施拡大⇒ハードの入手、貸与、使い方の指導等も必要 (4) 行政から、地域によるニーズの把握、売り手側への支援指導や助成金支給の検討</p>	<p>地域住民が主体となった朝市や送迎、移動販売や買い物バスなどに取り組んでいる地域もあり、本市としても支援しています。</p> <p>今後も、地域の特性に合わせて、住民や団体が地域の困りごとなどを話し合う場(協議体)を推進し、地域住民と事業者や支援者をつなぐネットワークの強化を図り、安心して買い物ができる地域づくりを進めてまいります。</p> <p>いただいた御意見は、地域共生社会を目指して具体的な取組みを推進する際の参考とさせていただきます。</p>	2	③

「(仮称)第2次北九州市いきいき長寿プラン」素案に対する意見一覧

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】</p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</p>		<p>【意見の反映結果】</p> <p>① 計画に掲載済、又は現在実施中・ 計画期間中に実施予定 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし</p>		
71	<p>「小型車両を活用したお買い物バスの運行」について、具体的な実施方法(対象者や運営主体等)について関心を持ちました。運転免許返納後の移動手段は課題の一つであると思うため、買い物や病院への移動手段が確保できれば運転免許を返納しやすくなるのではないかと思います。</p>	<p>10人乗り小型車両を活用した「お買い物バス」は、大型バスが運行できない高台地区等にお住いの方々の買い物や病院に行くための「生活の足」を確保するため、市営バスが、若松区の高塔山・石峰山地区に2つのコースを設定し、令和2年10月から運行を行っております。一般の乗合バスとして運行しておりますので、どなたでもご利用いただけます。</p> <p>今後も、地域の皆様の御意見等を丁寧に聞きながら、市民目線に立った利用しやすい運行を目指してまいります。</p>	1	①
72	<p>交通費の負担を軽くしてください。西鉄バスの年間パスは43,000円でとても高いです。東京は年間1,000円、横浜は8,000円で乗り放題です。</p> <p>交通費が安くなれば、出かけやすくなり、健康によく、精神衛生上にもよく、医療費の削減にもつながる、食事や買い物をし、お金を落とすので商店が潤うなどと良いことばかりです。</p>	<p>本市としては、限られた財源を効果的・効率的に活用し、地域における高齢者の生活支援の充実などに努めることとしており、高齢者への交通費助成は、考えておりません。</p> <p>今後も、バス路線廃止地区やバス路線のない高台地区などにおいて、地域住民の交通手段を確保するため、ジャンボタクシーなどを運行する「おでかけ交通」に対して財政的な支援を行うなど、生活の足の確保に向けた取組みを進めてまいります。</p>	4	③
73	<p>施策No.181 避難行動要支援者避難支援のための仕組みづくりについて、実際の災害発生時を想定し「災害発生時に居住事実確認等のため、居住者情報(名前、年齢、世帯構成、健康状態等に関する情報)を消防、警察等の関係機関へ提供するシステムの構築を図る。」旨の追加の検討をお願いいたします。</p> <p>市で情報登録時に、「大規模震災等の際には、この情報を消防・警察などと共有します。」等の同意を求める等、情報提供に関する記載事項の確認等もお願いいたします。</p>	<p>御指摘いただきました、公的な関係機関への避難行動要支援者名簿の情報提供については、既に実施しており、情報登録時の調査票にも、自治会、民生委員、消防団、社会福祉協議会といった避難支援等関係者に情報提供する旨を記載しております。</p> <p>また、大規模災害時においては、消防、警察、区役所といった機関が救助、捜索、安否確認等を行う際、名簿を使える体制を整備し、災害発生に備えています。</p>	3	①

「(仮称)第2次北九州市いきいき長寿プラン」素案に対する意見一覧

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
【意見の内容】		【意見の反映結果】		
1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見		① 計画に掲載済、又は現在実施中・ 計画期間中に実施予定 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし		
その他				
74	令和元年高齢者実態調査をベースに、検討されているが、この調査がどんなものか(対象者、抽出方法・郵送・男女比・・・)等の説明が不足している。また、p17の上のグラフで比率の合計が100を超えている。複数回答か？	令和元年度に実施した高齢者等実態調査の詳細については、資料編に追記します。また、複数回答である旨を追記します。御指摘ありがとうございます。	3	②
75	政府は75歳以上の高齢者の「後期高齢者の窓口負担」を1割から2割にしようとしています。これ以上介護保険料の値上げをされると生活ができません。高齢者いじめはやめて下さい。市は国に対して国の負担を増すよう要求してください。	後期高齢者の医療費の窓口負担の見直しについては、国に対し「窓口負担割合の引き上げやその所得基準の検討にあたっては、制度の根幹である高齢者が必要な医療を受ける機会の確保の観点や、低所得者等への十分な配慮が必要である。」等を他都市と連名で要望しています。	4	④
76	75歳の医療費窓口負担の1割から2割への引き上げは絶対に反対します。対象の方はこれ以上負担が増えると病院に行く回数も減ってくるのでは・・・。		4	④
77	年金は下がるし、窓口負担も値上がり(2割)します。反対です。		4	④
78	コロナのPCR検査ももっと多くの人々にして陽性者を早く見つけてほしい。被害は高齢者に多く出ます。	現在、国においては無症状の希望者に対して、PCR検査料を全額補助する制度はなく、実施にあたっては各自自治体が負担する必要があります。本市では限られた財源のなかで、まずは優先順位をつけ、重症化しやすい高齢者・障害者への新型コロナウイルス感染拡大を防止しようと、市内の高齢者施設等の入所者とスタッフを対象に、症状がなくても希望者がPCR検査を受けられる仕組みを令和2年12月に導入いたしました。また、無症状の希望者全員に検査を実施するためには、検査能力の問題があり、現在の検査能力を勘案すると、対応することは難しいと考えます。感染拡大時に行政検査に必要な市内の検査能力を逼迫させないために、実施にあたって、どういった仕組みが必要なのか、課題も含めて、今後も検討・情報収集に努めてまいりたいと考えています。	4	④
79	「北九州市SDGs未来都市計画」との関係ですが、17項目のうち、どれとどれに取り組んでいるかが解るようにしたらいかがでしょうか。	御指摘ありがとうございます。それぞれの施策の方向性ごとに、関連するゴール番号を記載します。	3	②

「(仮称)第2次北九州市いきいき長寿プラン」素案に対する意見一覧

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】</p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</p>		<p>【意見の反映結果】</p> <p>① 計画に掲載済、又は現在実施中・計画期間中に実施予定 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし</p>		
80	<p>私は還暦の理学療法士です。今まで病院勤務で、地域でのリハビリテーション貢献が間接的にしかできなかったのですが、私のように、市民としてまたリハビリテーション専門職として関われる人材が増えてきます。また、2040年頃の共生社会を見据えたとき、現在の病院医療ベースの範囲では支えられない地域の課題にリハビリテーションを通じた社会作りとして応用・還元できるのではないかと考えております。</p>	<p>地域共生社会の実現に向けて、様々な取組を行う中の一つとして、地域リハビリテーションを推進することとしており、その支援体制にあたっては、さまざまな専門職の協力を得ながら、進めてまいります。</p>	4	④
81	<p>コロナ禍で、今は、サロン活動を中止せざるを得ない状況です。今現在の高齢者にとっては、これからITの仕組みを日常的に導入していくことはやはり困難と感じますし、ともに集うことの意義は今後も変わらないと思いますので、感染のリスクを最低限に予防しつつ、安全に集うことを地域として許容していくことも大切だと思います。</p> <p>私たちボランティアスタッフは、民間の活動だからこそ、決められたことしかできない制度上の活動ではないということを大切に、できることを考えていきたいと思っています。何かあった時の責任、ということが常について回ることですが、補える保険は活用しつつも、地域活動の責任はお互いに自己責任であるということ意識することも大切だと思いますし、そう思える関係性の構築が何より大切だと思います。</p>	<p>本市では、誰もが地域の一員として、見守り・支え合いの出来る地域づくりを進めるており、御指摘のように、本来、人が集い、会話をすることが基本であり、重要だと考えています。</p> <p>コロナ禍において、事業を中止せざるを得ないこともありますが、本市としても、各種事業の実施にあたっては、ITの活用など実施方法の工夫を図るとともに、あわせて、感染防止対策を徹底したうえでの事業継続も模索してまいります。</p>	4	④

「(仮称)第2次北九州市いきいき長寿プラン」素案に対する意見一覧

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】</p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</p>		<p>【意見の反映結果】</p> <p>① 計画に掲載済、又は現在実施中・計画期間中に実施予定 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし</p>		
82	<p>「終の棲家である地域の絆の醸成」のためには、この地域に住むみんなが力を合わせて、より良いまちづくりをすることだと考えます。</p> <p>私の町の実例を紹介します。もしも災害が発生した場合、「自分たちの住む町から一人の被災者も出さない」取り組みとして、防災活動の趣旨を説明し、『お助け隊』を昨年発足させました。その活動の第1は「町内の避難困難者の確認」。次に、避難困難者の避難支援です。「誰が、いつ、だれを、どんな方法で、どこへ」を具体的にしっかりと決めて文書化し、お助け隊を中心にして、町内全体で助け合う仕組みづくりが出来上がりました。このお助け隊をスタートに、町内の防災活動のみならず、高齢化で買い物や病院への通院などもおぼつかなくなっている人たちへの支援へと発展させる事を考えています。また、肝心なことは、この『お助け隊』が継続的に活動することだと考えています。</p>	<p>本計画が目指す「高齢者がいきいきと、安心して、暮らせる共生のまちづくり」の実現につながる素晴らしい事例のご紹介をありがとうございます。</p> <p>今後の計画の推進にあたり、関係部署で情報共有し、参考にさせていただきます。</p>	4	④